

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	事故
2. 体験した事例の名称	耐震防火水槽水入れ替え後の火災出動による熱中症
3. 体験した事例の中心的要素	8月の炎天下の中、13時30分頃から耐震防火水槽の水入れ替えを開始して、約2時間程度経過した時に火災指令が入り、火災現場で防火いを着用しての活動。1時間程度活動し帰所した後、気分が悪くなった。
4. 体験した事例の原因・理由	水入れ替えの活動中は水分も摂っており、木陰で休憩もしていたが、火災現場では水分を取らず炎天下での活動が続いたこともあり、熱中症になってしまったと考えられる

【体験した事例の直接的な原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	行動の意志決定に問題があった。
------------------	-----------------

【体験した事例について】

1. 発生日時	平成24年8月1日 午後5時頃
2. 発生した当時の天候	晴れ
3. 発生した活動現場	屋外：炎天下での活動後、帰所した分遣所内で発症
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷した。
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	軽傷の怪我
6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)	その他:気分が悪くなった
7. 事例体験時の活動	火災 その他:帰所後。、[]
8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか	その他：帰所後。
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）



○当事者A	年齢[26]歳、勤続年数[2]年、現場経験年数[1]年、階級[消防副士長] 同様の活動 [初めて]、任務 []
○当事者B	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[] 同様の活動 []、任務 []
○当事者C	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[] 同様の活動 []、任務 []
○その他(当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生の経過。



	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	A	耐震防火水槽の水入れ替えを開始	8月の炎天下。水分を摂り休憩をしていた。
経過2	A	火災指令が入り、現場で防火衣を着装して作業	現場では水分を摂らず、炎天下の活動が続いた。
経過3	A	帰所後の分遣所内で気分が悪くなった。	
経過4			
経過5			
経過6			
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

【その事例発生時の状況について】



- 事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思えるか？
- ヒヤリハットの場合 : ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思えるか？

危険情報を把握、予見できなかった。 個人装備が不適切だった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用 방법이誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	はい
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

水本補給だけで塩分の補給をしておらず、火災現場活動時に防火衣に保冷剤を入れていなかった。
--

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

署内での安全管理研修の中で情報を共有し、隊員同士が炎天下での長時間にわたる活動の危険性を確認。本人だけでなく、隊員間で注意しあうよう心掛ける。

○装備・資機材の対策について

炎天下での活動時には、保冷剤を着用。交換用の保冷剤も用意するとともに、冷たい飲料水も用意しておく。

○活動環境の対策について

隊員相互で注意する。

○指揮・情報伝達の対策について

活動図面



当日の服装

